



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日
上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社

コード番号 2453 URL <http://www.ibr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 榊原 暢宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートプラットフォームカンパニー長 (氏名) 若月 光博 TEL 052-212-9908

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 平成29年6月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	6,213	8.2	379	△21.7	399	△18.2	555	1.1
28年9月期第2四半期	5,740	△8.0	484	56.5	488	46.4	549	140.4

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 404百万円 (△67.7%) 28年9月期第2四半期 1,254百万円 (326.8%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年9月期第2四半期	16	82	—	—
28年9月期第2四半期	15	94	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	12,464	40.8	5,080	40.8	—	—
28年9月期	12,328	44.1	5,439	44.1	—	—

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 5,080百万円 28年9月期 5,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年9月期	—	1.00	—	5.00	6.00
29年9月期	—	3.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,000	12.5	800	△2.9	850	△3.2	700	—	21	22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	34,685,000株	28年9月期	34,685,000株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	2,576,241株	28年9月期	401,441株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	33,041,411株	28年9月期2Q	34,477,300株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(その他)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成29年3月31日）におけるわが国経済は、企業の生産活動や輸出の持ち直し、雇用環境の改善及び賃金の上昇により総じて緩やかな回復基調にあるものの、消費者マインドは依然として弱く、個人消費は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける！」という経営理念に基づき、「ありがとう」と言ってもらえる、安心・快適なサービスを提供することで、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は6,213,459千円（前年同期比8.2%増）、営業利益は379,464千円（前年同期比21.7%減）、経常利益は399,361千円（前年同期比18.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は555,602千円（前年同期比1.1%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス7千件、水まわり関連サービス20千件、カギの交換関連サービス25千件及びパソコン関連サービス6千件であります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① コールセンター事業

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、448,768千円（前年同期比43.5%増）となり、営業利益は22,376千円（前年同期比74.8%減）となりました。

② 会員事業

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、2,362,266千円（前年同期比2.4%減）となり、営業利益は436,802千円（前年同期比18.2%増）となりました。

③ 企業提携事業

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,502,868千円（前年同期比3.8%減）となり、営業利益は250,352千円（前年同期比0.8%増）となりました。

④ 加盟店事業

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、37,002千円（前年同期比26.0%減）となり、営業損失は181,586千円（前年同期は営業損失182,217千円）となりました。

⑤ 少額短期保険事業

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,667,794千円（前年同期比13.3%増）となり、営業利益は111,632千円（前年同期比13.6%減）となりました。

⑥ リペア事業

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、238,966千円となり、営業損失は67,322千円となりました。

⑦ その他の事業

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、22千円（前年同期比99.7%減）となり、営業利益は22千円（前年同期比99.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ144,618千円増加し、9,570,798千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が265,942千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ7,554千円減少し、2,894,044千円となりました。これは主に、のれんが18,914千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ886,792千円増加し、4,339,767千円となりました。これは主に、買掛金が136,891千円、1年内返済予定の長期借入金が464,646千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ392,373千円減少し、3,044,377千円となりました。これは主に、長期前受収益が243,762千円増加したものの、長期借入金628,168千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ358,320千円減少し、5,080,697千円となりました。これは主に、自己株式が590,422千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、6,832,349千円(前年同期比5.4%増)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、377,077千円(前年同期比31.8%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益736,300千円の計上があったものの、投資有価証券売却益394,718千円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は110,066千円(前年同期は206,994千円の獲得)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入333,213千円があったものの、投資有価証券の取得による支出501,056千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、933,084千円(前年同期比138.2%増)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出592,481千円や配当金の支払額170,980千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、平成28年11月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,614,322	6,850,049
受取手形及び売掛金	935,843	1,201,786
商品及び製品	91,458	93,228
貯蔵品	3,681	6,188
その他	825,618	1,469,726
貸倒引当金	△44,743	△50,180
流動資産合計	9,426,180	9,570,798
固定資産		
有形固定資産	162,315	191,199
無形固定資産		
のれん	108,319	89,405
その他	184,159	174,926
無形固定資産合計	292,478	264,331
投資その他の資産		
投資有価証券	1,624,130	1,625,426
破産更生債権等	1,465,785	1,465,994
その他	919,879	904,286
貸倒引当金	△1,562,990	△1,557,194
投資その他の資産合計	2,446,804	2,438,513
固定資産合計	2,901,599	2,894,044
繰延資産	964	—
資産合計	12,328,744	12,464,842
負債の部		
流動負債		
買掛金	510,797	647,688
1年内返済予定の長期借入金	230,347	694,993
未払法人税等	276,358	187,843
賞与引当金	19,618	2,705
会員引当金	319,850	275,574
支払備金	30,747	42,367
責任準備金	546,719	561,827
その他	1,518,537	1,926,767
流動負債合計	3,452,975	4,339,767
固定負債		
長期借入金	628,168	—
長期前受収益	2,652,855	2,896,617
その他	155,726	147,759
固定負債合計	3,436,750	3,044,377
負債合計	6,889,725	7,384,144

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	779,643	779,643
資本剰余金	3,627,029	3,627,029
利益剰余金	656,815	1,040,031
自己株式	△76,307	△666,729
株主資本合計	4,987,181	4,779,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451,837	300,722
その他の包括利益累計額合計	451,837	300,722
純資産合計	5,439,018	5,080,697
負債純資産合計	12,328,744	12,464,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	5,740,714	6,213,459
売上原価	3,435,847	3,556,453
売上総利益	2,304,867	2,657,005
販売費及び一般管理費	1,819,988	2,277,540
営業利益	484,878	379,464
営業外収益		
受取利息	6,143	301
受取配当金	13,510	16,607
その他	11,710	9,101
営業外収益合計	31,365	26,010
営業外費用		
支払利息	2,812	1,920
保険業法第113条繰延資産償却費	8,338	964
投資事業組合運用損	12,502	1,011
自己株式取得費用	—	2,059
その他	4,099	157
営業外費用合計	27,752	6,114
経常利益	488,491	399,361
特別利益		
投資有価証券売却益	225,721	394,718
その他	1,940	410
特別利益合計	227,661	395,128
特別損失		
固定資産売却損	—	13,000
固定資産除却損	10,724	15,918
関係会社株式売却損	8,191	—
投資有価証券評価損	—	9,270
訴訟関連費用	9,690	—
特別退職金	—	20,000
その他	57	—
特別損失合計	28,663	58,188
税金等調整前四半期純利益	687,489	736,300
法人税等	132,909	180,698
四半期純利益	554,580	555,602
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,894	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	549,685	555,602

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	554,580	555,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	699,492	△151,114
その他の包括利益合計	699,492	△151,114
四半期包括利益	1,254,072	404,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,249,178	404,487
非支配株主に係る四半期包括利益	4,894	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	687,489	736,300
減価償却費	59,014	52,718
保険業法第113条繰延資産償却費	8,338	964
のれん償却額	35,543	18,914
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17,313	△359
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△339	△16,913
会員引当金の増減額 (△は減少)	39,165	△44,275
受取利息及び受取配当金	△19,654	△16,908
支払利息	2,812	1,920
固定資産売却損益 (△は益)	—	13,000
固定資産除却損	10,724	15,918
投資有価証券売却損益 (△は益)	△217,530	△394,718
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	9,270
訴訟関連費用	9,690	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△301,024	△265,942
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,431	△4,277
前払費用の増減額 (△は増加)	19,064	27,969
未収入金の増減額 (△は増加)	△209,912	△146,541
差入保証金の増減額 (△は増加)	△4,250	6,317
仕入債務の増減額 (△は減少)	90,799	136,891
未払金の増減額 (△は減少)	112,422	114,467
前受収益の増減額 (△は減少)	29,296	232,490
長期前受収益の増減額 (△は減少)	187,680	243,762
その他	45,461	△111,951
小計	607,537	609,017
利息及び配当金の受取額	19,659	16,913
利息の支払額	△2,732	△1,893
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	103,213	△227,383
課徴金の支払額	△165,090	—
訴訟関連費用の支払額	△9,690	—
特別退職金の支払額	—	△19,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	552,898	377,077

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△101,500	△1,800
定期預金の払戻による収入	222,506	100,000
有形固定資産の取得による支出	△147,805	△16,461
有形固定資産の売却による収入	58,689	6,000
無形固定資産の取得による支出	△40,691	△38,131
投資有価証券の取得による支出	△47,163	△501,056
投資有価証券の売却による収入	264,673	333,213
貸付けによる支出	△30,000	—
貸付金の回収による収入	26,102	7,536
その他	2,183	632
投資活動によるキャッシュ・フロー	206,994	△110,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△322,245	△163,522
自己株式の取得による支出	—	△592,481
配当金の支払額	△68,606	△170,980
その他	△830	△6,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△391,681	△933,084
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	368,202	△666,073
現金及び現金同等物の期首残高	6,113,209	7,498,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,481,412	6,832,349

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,818,000株の取得を行い、自己株式が499,972千円増加しております。また、平成28年12月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式356,800株の取得を行い、自己株式が90,449千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は666,729千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	コー ル セ ン タ ー	会 員	企 業 提 携	加 盟 店	少 額 短 期 保 険	計
売上高						
外部顧客への売上高	312,657	2,416,498	1,562,049	50,000	1,392,512	5,733,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,274	734	—	80,111	84,119
計	312,657	2,419,772	1,562,783	50,000	1,472,624	5,817,838
セグメント利益又は損失(△)	88,751	369,646	248,475	△182,217	129,243	653,899

	その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	6,996	5,740,714	—	5,740,714
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	84,119	△84,119	—
計	6,996	5,824,834	△84,119	5,740,714
セグメント利益又は損失(△)	3,187	657,086	△172,208	484,878

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器事業、自動車賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△172,208千円には、セグメント間取引消去3,223千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,432千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	コー ル セン ター	会 員	企 業 提 携	加 盟 店	少 額 短 期 保 険	リ ペ ア	計
売上高							
外部顧客への売上高	448,768	2,362,266	1,501,974	37,002	1,624,457	238,966	6,213,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	894	—	43,337	—	44,231
計	448,768	2,362,266	1,502,868	37,002	1,667,794	238,966	6,257,667
セグメント利益又は損失(△)	22,376	436,802	250,352	△181,586	111,632	△67,322	572,253

	その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	22	6,213,459	—	6,213,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	44,231	△44,231	—
計	22	6,257,690	△44,231	6,213,459
セグメント利益又は損失(△)	22	572,276	△192,811	379,464

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車賃貸事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△192,811千円には、セグメント間取引消去5,042千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197,854千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他事業」に含まれていた「リペア事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、「リペア事業」については、前第3四半期連結会計期間に事業譲受により開始しているため、当該変更による前第2四半期連結累計期間のセグメント情報に対する影響はありません。

(その他)

(重要な訴訟事件等)

- (1) 当社の連結子会社であったJBR Leasing株式会社と共同で行った自動車賃貸事業により多大な損失を被ったとして、平成27年5月20日付で株式会社EHS破産管財人弁護士川上明彦氏から100,000千円の損害賠償請求訴訟の提起を受け、提出日現在係争中であります。

当社としては、対応に過失はないものと判断しており、訴訟の中で正当性を主張していく方針であります。

なお、平成27年10月1日を効力発生日として、当社を存続会社とし、JBR Leasing株式会社を消滅会社とする吸収合併により、当社が上記訴訟における被告としての地位を承継しております。

平成29年2月20日当社主張が認められ、勝訴しておりますが、EHS破産管財人はこれを不服として平成29年3月2日に控訴しております。

- (2) 当社は、当社の子会社であった株式会社バイノスに対し、金銭消費貸借契約に基づき金銭の貸付を行っていましたが、同社が平成28年1月19日に福島地方裁判所郡山支部より破産手続開始決定を受けたことから、その連帯保証人である同社の元代表取締役湯川恭啓氏を被告として、保証債務の履行を求める民事訴訟を、名古屋地方裁判所に提起し、提出日現在係争中であります。